

## 令和4年度第2回 長野市廃棄物減量等推進審議会 議事録【要旨】

### 【開催概要】

開催日時：令和4年8月29日（月）午前9時30分から11時まで

開催場所：リサイクルプラザ2階 大会議室

### 【次第】

1 開会

2 会長あいさつ

3 環境部長あいさつ

4 前回の議事録確認

5 議事

一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の見直しについて

6 その他

7 閉会

### 【会議資料】

- ・資料1 一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の見直しについて（説明資料）
- ・資料 別紙1 前回答申書
- ・資料 別紙2 仮設トイレ収集状況
- ・長野市廃棄物減量等推進審議会名簿

【出席委員】 13名

【欠席委員】 2名

【事務局】 8名

【報道・傍聴者】 0名

## 【会議内容(要旨)】

### 1 開 会

会議の成立と公開について報告（事務局）

### 2 会長あいさつ

第2回目の審議会開会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。皆さまには、お忙しい中ご足労いただき感謝申し上げます。

本日は具体的な処理原価から算出された手数料について、改めて事務局から説明を聞き、確認をしていきたいと思うので、どうぞよろしくお願ひしたい。

### 3 環境部長あいさつ

お忙しい中ご出席いただいたこと、感謝申し上げます。

本日はし尿及び生活雑排水処理手数料についてご審議いただき。事務局では、将来の収集量や経費などを算出させていただいたほか、事業者の実情など総合的に勘案したものを手数料案として出させていただいた。ご審議の程、よろしくお願ひ申し上げます。

本日は、どうぞよろしくお願ひしたい。

### 4 前回の議事録確認

事前に送付した令和4年度第1回審議会の議事録(要旨)確認。修正箇所なしで承認。

### 5 議事

#### 一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の見直しについて

◇資料1「一般廃棄物（し尿及び生活雑排水）処理手数料の見直しについて」により説明（事務局）

（会長）ご質問等ありましたらお願ひしたい。

<以下、質疑応答>

（小倉委員）収集量の推計の算出方法を教えてください。

（事務局）過去の実績から、将来の収集量について複数の推計パターンに当てはめ、その中で妥当と判断される収集量の平均値を採用している。なお、令和元年度の災害に伴う浄化槽を含む収集汚泥の一時的増加分については、特殊要因として推計上は除外している。

（会長）長期的な収集量の推計が難しいことから、3年ごとの見込みがあり3年ごとの見直しが大切である。これが長期5年10年という周期となると、実態とずれて

くる。

(宮入委員) 長野市では最終処理で発生した汚泥をどのように処理しているか。

(事務局) し尿等を処理した汚泥は脱水した後、佐久市にある堆肥化処理施設へ搬入し、堆肥として製品化され一般に売却されている。堆肥化という形で有効活用されている。

(浅野委員) 一般的な下水汚泥は、焼却処理場で焼却された後、タイルやブロック等建設材料に利用している。埋め立てられるのはごく一部。

(山本委員) 簡易浄化槽の清掃基数の推計について令和4年は5,440基。この数字の算出根拠は何か。

(事務局) 平成28年度からの推計により算出した。

(会長) 今年の8月末までの数字を使わずに予測値を使っているということか。

(事務局) 令和3年度までの実績値に基づいて計算した結果により推計した数字である。

(山本委員) あまり変化は無いということで理解してよろしいか。

(事務局) し尿等も雑排水の清掃基数の方も、近年は減り具合が緩やかになってきている。

(竹重委員) 市内でも地区によって人口密度が違う。向こう3年間の平均の推計値は妥当か。山間地では人口減少が著しい。県の南信地区では、集落の戸数が激減し浄化槽の採算が合わなくてなっているところがあり、これはどこでも起こりうる話である。

(事務局) 試算した中にはさらに減少幅が大きいものもあったが、過去の減り方から実情に合った推計ではないかと考えている。実際には推計が難しいことから、3年に一度の見直しが必要と思われる。し尿でいえば前回算定したときより緩やかな減り方になってきている。なお、地域別の推計については、今後検討の余地があると思う。

(副会長) 清掃基数について、平成28年には9,500あるのが、令和7年の推計では半分になっている。予測は難しい。簡易浄化槽はし尿と比較しても急激に減っていると私は思っている。今後そういう過疎地域で一気に減って一軒だけ残るということは当然起こりうる。それを踏まえてはいるが推計の数字には反映しづらいところである。こうしたことを勘案し3年毎の改定が必要なのだと思う。

◇資料 「別紙2 仮設トイレ収集状況」により説明 (事務局)

(会長) ご質問等ありましたらお願いしたい。

(竹重委員) 提案だが将来的には仮設トイレはなくなさなければいけない。例えば大規模の建設現場に置かれる仮設トイレからのし尿は結構な量になる。簡易トイレを使用

して、ごみとして焼却処分する等将来的には清潔でありながら簡単に処理できる方法への転換が求められる。

(河西委員) 期間の短い市街地での工事等では公園等のトイレが利用できるよう、将来的に設置する仮設トイレを減らす機運を高めていくことが必要。

(徳武委員) イベントをやっていると仮設トイレは必要不可欠だが、利用者の要望水準も高くなってきている。市民に対する啓発や意識の変革も同時に必要。

(山本委員) 竹重委員の提言される汚水を、簡易トイレ処理剤を使い焼却ごみとして出すという話について、環境面ではよいが、民生委員として、高齢者や独居の方に対する費用等の配慮が望ましい。

(浅野委員) 将来、仮設トイレだけが収集のメインとして残った場合や最小単位の作業の場合でも、事業者の採算が合うような額の設定が必要。仮設トイレの加算料金は、従量制とは別の金額設定ということか。

(事務局) 別の金額設定をした方が分かりやすいと考えている。

(副会長) 竹重委員の仮設トイレをなくすことについては、大事なことで多分将来的にはそうなると思う。

し尿のくみ取りは利用者が全額負担しているが、効率の悪い仮設トイレも同額になっているということは、一般家庭の利用者が仮設トイレの分も負担しているということ。仮設トイレと普通のし尿のくみ取りを別にしなければいけないのはその通りで、仮設トイレの料金について何らかの理由付けをして改正しなければいけないと思う。

## 6 その他

仮設トイレについては今後の方向性について、審議会でいただいた意見をもとに答申原案を作成し、次回審議いただきたいと考えているのでお願いします。

本日の議事録は、事務局でまとめたものをお送りし、承認後に公開したい。簡単な日時や概要等をまとめた簡易的な開催結果と本日の資料は、別途ホームページで公開させていただく。

次回の審議会では、し尿処理手数料等の答申案の審議をよろしくお願いします。(事務局)

## 7 閉会

(午前 11 時閉会)